

2012 年度保護者満足度調査結果 結果報告

【実施時期】

2012 年 12 月下旬～2013 年 1 月 18 日締切（インターネットによる回答は 1 月 20 日締切）

【実施方法】

従来のように学報に同封はせず、当該調査のみを全ての保護者の皆様に宛てて郵送。
回収は、返信用封筒による郵送または自宅学生による持参、インターネット上での回答。
※回答のし易さを優先し、従来のマークシート方式をやめ、設問と回答が一緒となった手書きの様式に変更。

【調査対象】

全学部学科（専攻）1～4 年次生の保護者 計 1,357 名

【回収率（全体）】

全体	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計
回答数	158	107	82	76	2	425
回収率	45.0%	31.2%	24.5%	23.2%	－	31.3%

※1 年次（学部不明回答）1 件あり。

2011 年度調査 回収率 313 件/22.7%

【回収率（学部(学科)別）】

看護	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計
回答数	74	37	29	34	0	174
回収率	46.3%	24.7%	18.4%	21.5%	－	27.8%

社会福祉	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計
回答数	12	14	11	12	0	49
回収率	30.0%	35.0%	44.0%	26.1%	－	32.5%

介護福祉	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計
回答数	1	4	4	1	1	11
回収率	7.1%	17.4%	26.7%	7.1%	－	7.5%

こども教育福祉	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計
回答数	14	14	9	8	0	45
回収率	38.9%	35.0%	22.5%	26.7%	－	30.8%

理学療法	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計
回答数	20	16	9	10	0	55
回収率	51.3%	47.1%	25.7%	33.3%	－	39.9%

作業療法	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計
回答数	21	14	12	8	0	55
回収率	65.6%	40.0%	30.0%	26.7%	－	40.1%

言語聴覚	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	学年不明	合計
回答数	15	8	8	3	1	35
回収率	50.0%	38.1%	36.4%	15.0%	－	37.6%

インターネットによる回答は 31 件

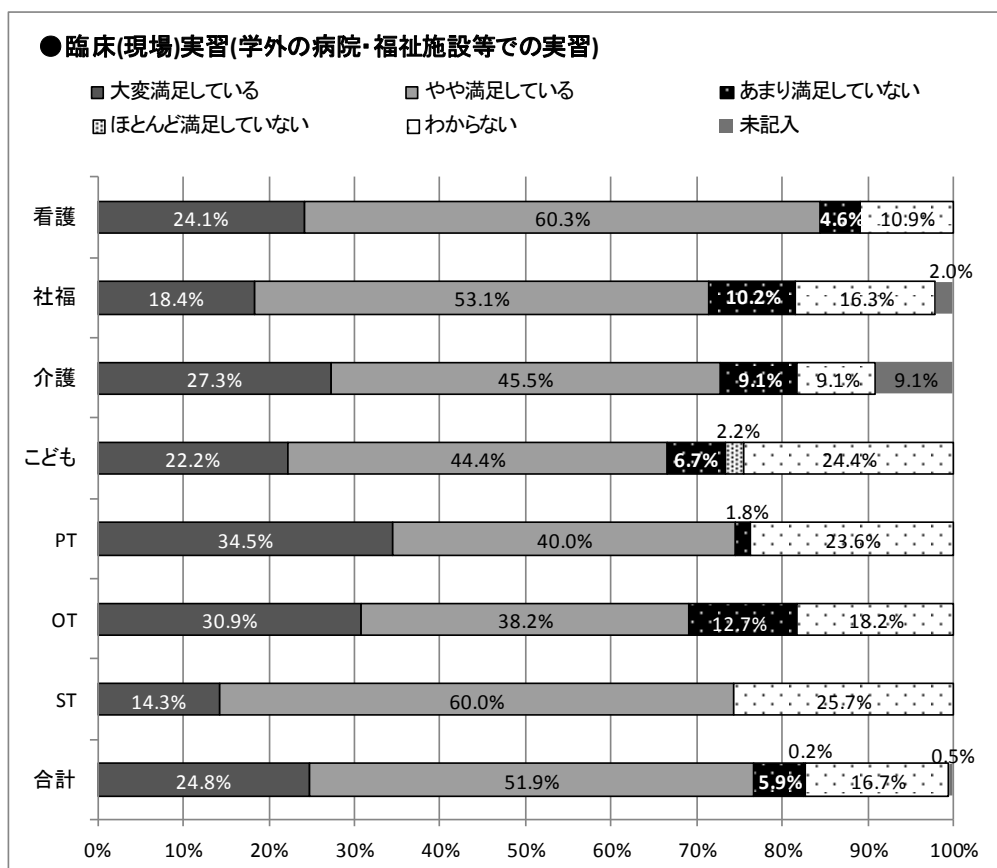
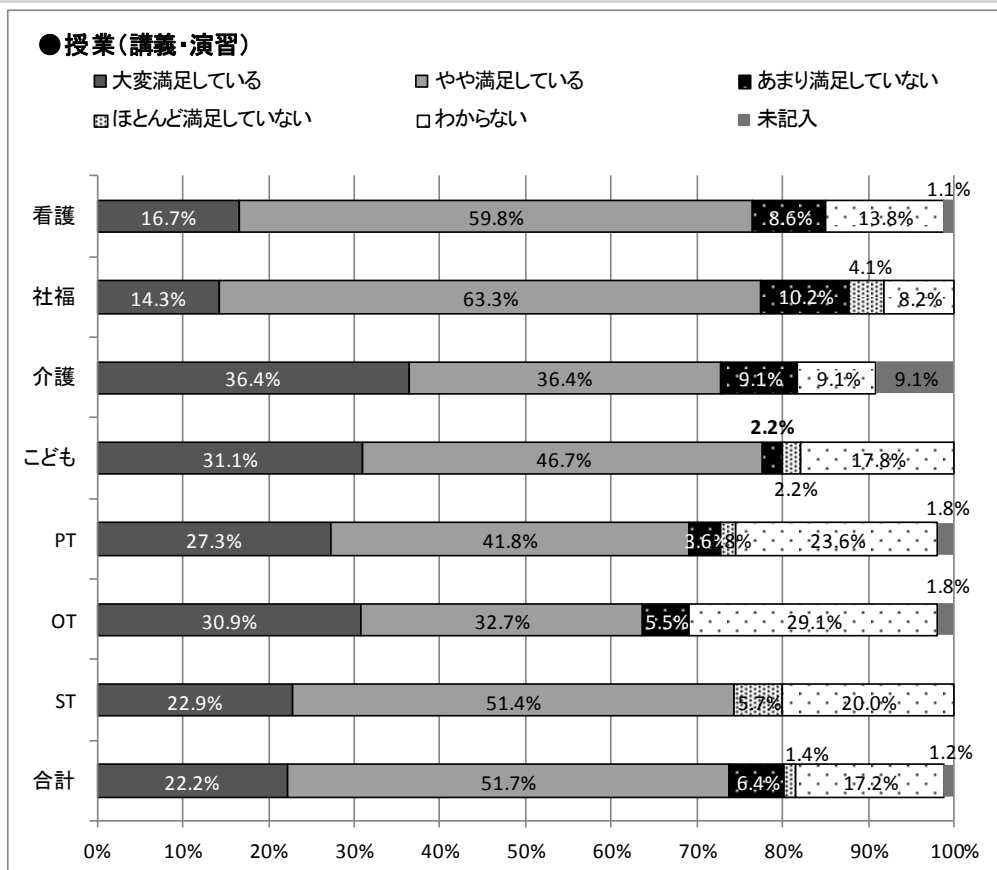
【結果の概要】

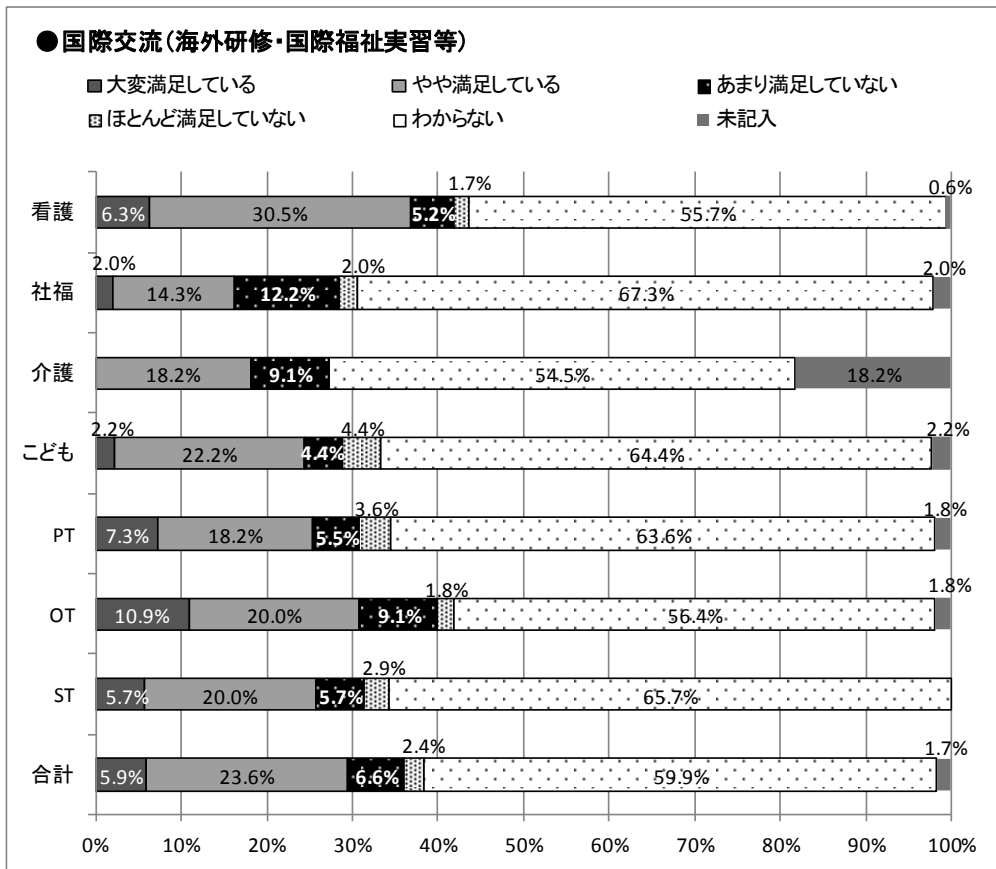
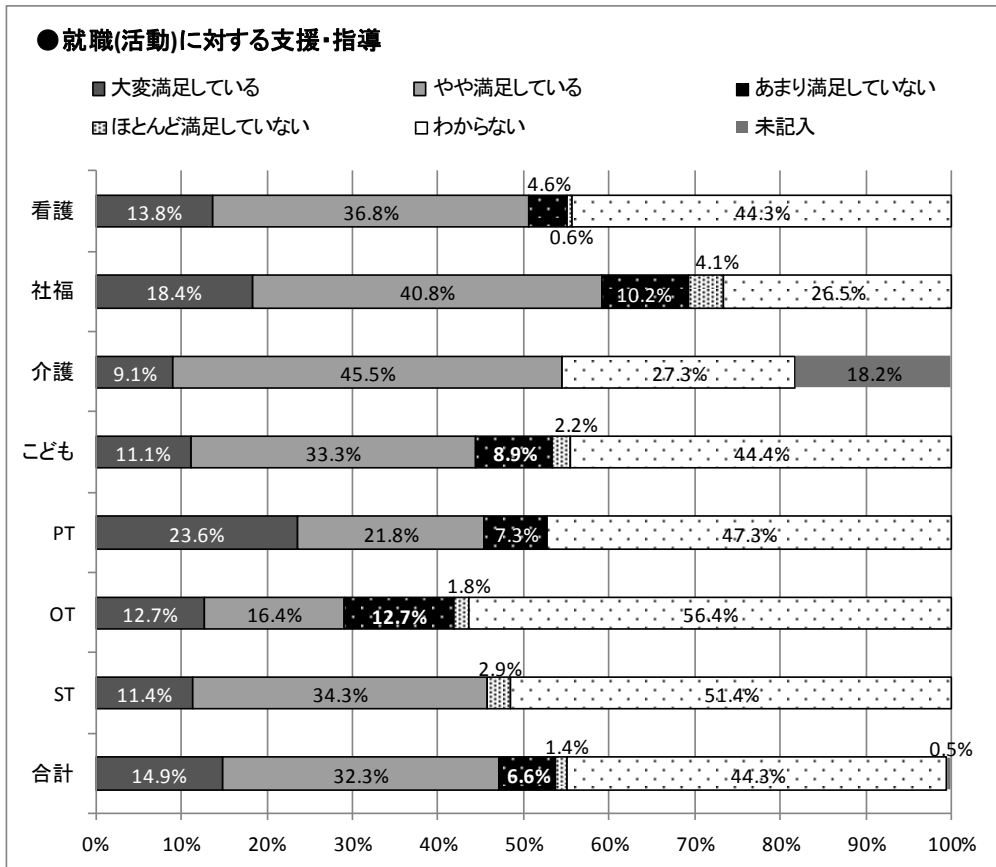
設問項目ごとに「大変満足している」「やや満足している」の合計を算出し、その値を満足度指数とした場合、「大学に対する総合評価」は 90.8%と高い評価をいただきました。しかし、項目別では必ずしも評価の高い項目ばかりではないため、満足度が高くない項目については今後の対応（改善策）について検討いたします。

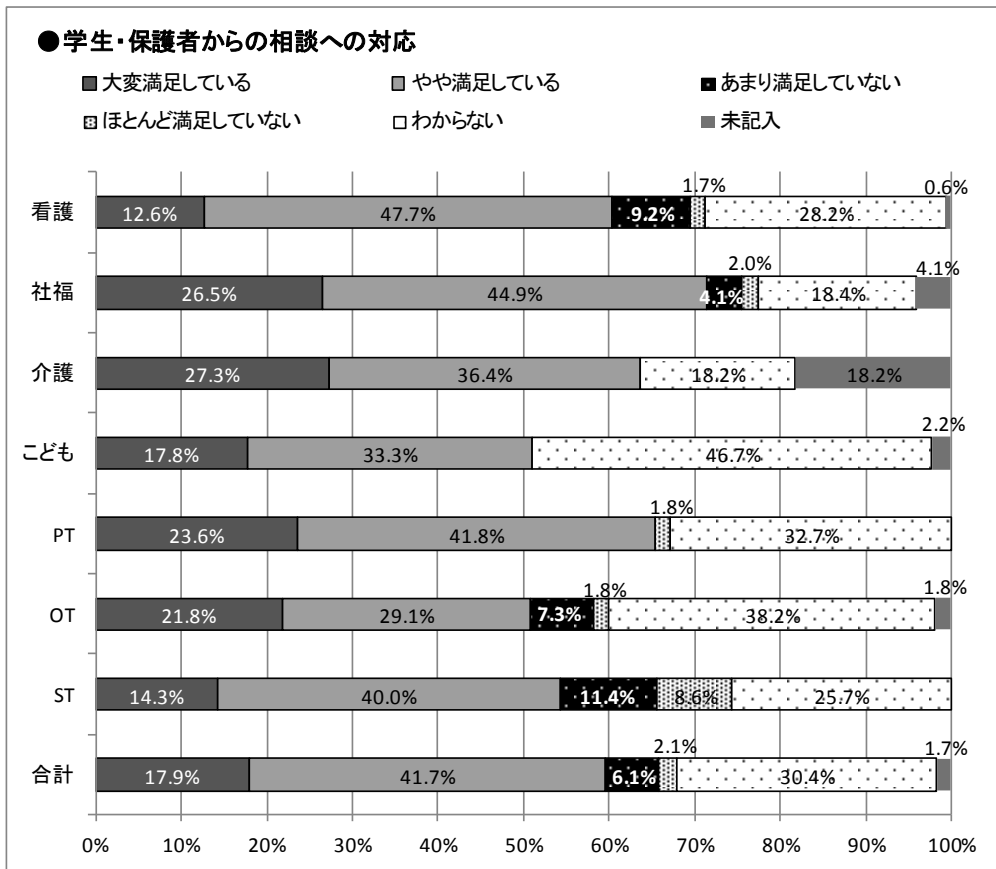
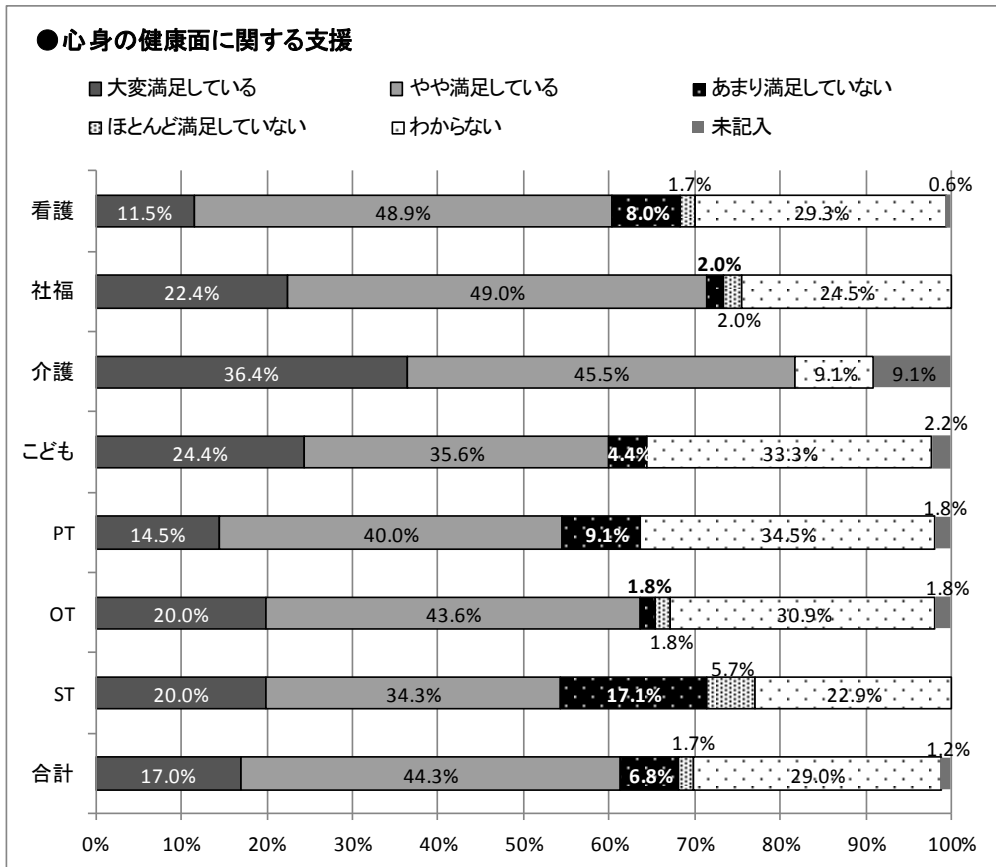
回答率は 31.3%と前年度から 9 ポイント近く上がり、件数では 110 件程前年度より多くの回答をいただくことができました。お忙しいところご協力いただきまして有り難うございました。2013 年度も引き続き実施をいたしますので、より良い大学づくりのため、今後も保護者の皆様の忌憚のないご意見を是非お寄せくださいますようご協力をお願いいたします。

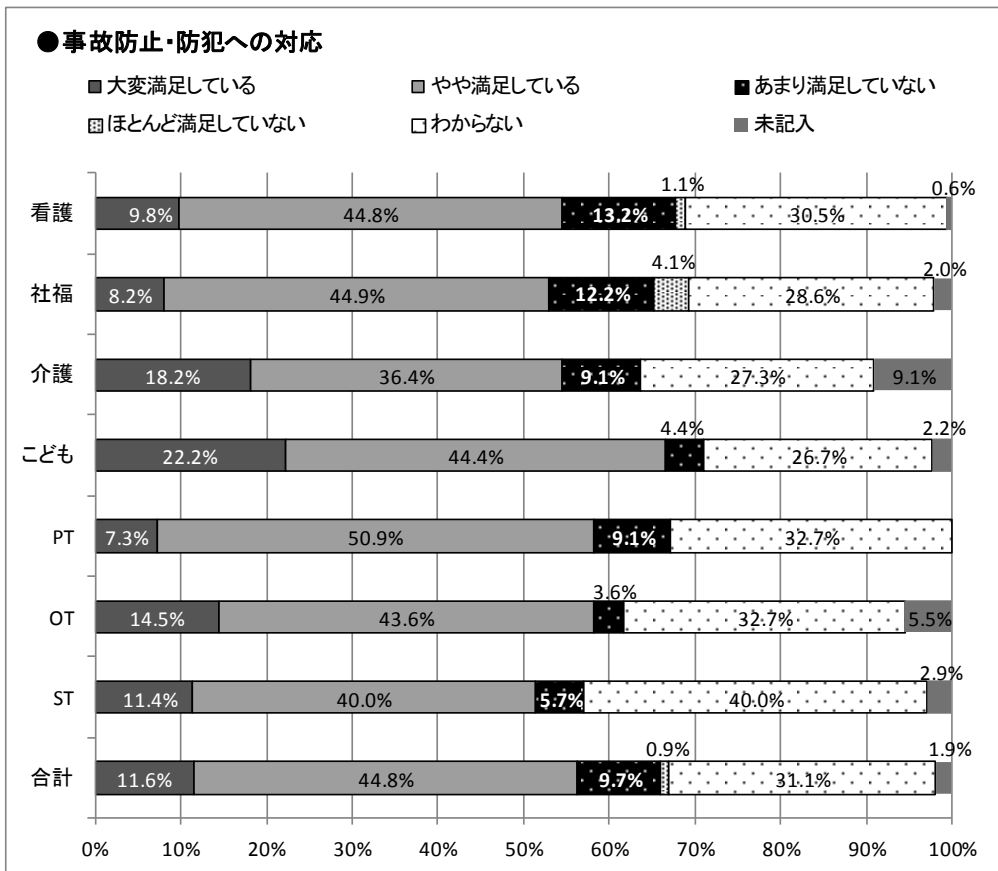
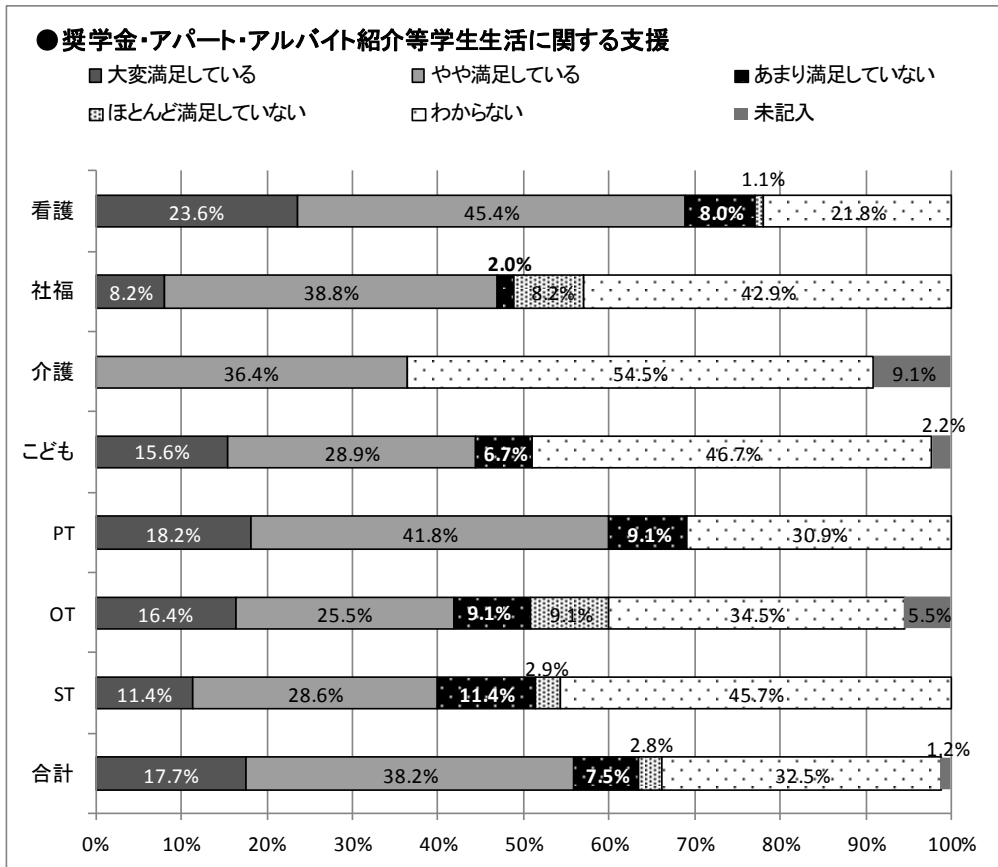
項目	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
大学に対する総合評価（進学させてよかったかどうか）	84.2%	95.2%	88.1%	90.8%
授業（講義・演習）	64.0%	75.8%	72.6%	74.7%
臨床（現場）実習（学外の病院・福祉施設等での実習）	64.9%	72.3%	74.0%	77.0%
就職（活動）に対する支援・指導	43.7%	48.1%	55.8%	47.4%
国際交流（海外研修・国際福祉実習等）	20.7%	28.0%	24.5%	30.0%
心身の健康面に対する支援	52.6%	68.5%	62.0%	62.1%
学生・保護者からの相談への対応	50.1%	69.4%	66.3%	60.7%
奨学金・アパート・アルバイト紹介等学生生活に対する支援	43.7%	59.9%	52.4%	56.6%
事故防止・防犯への対応	33.3%	52.8%	49.3%	57.5%
教員の対応（2009 年度の設問は「アドバイザー教員」）	44.5%	70.7%	66.7%	70.3%
事務職員の対応	55.8%	67.2%	62.7%	56.9%
大学の施設・設備	77.2%	81.5%	76.3%	82.1%
保護者として知りたい情報が大学から十分提供されていますか	60.6%	75.2%	74.4%	70.4%

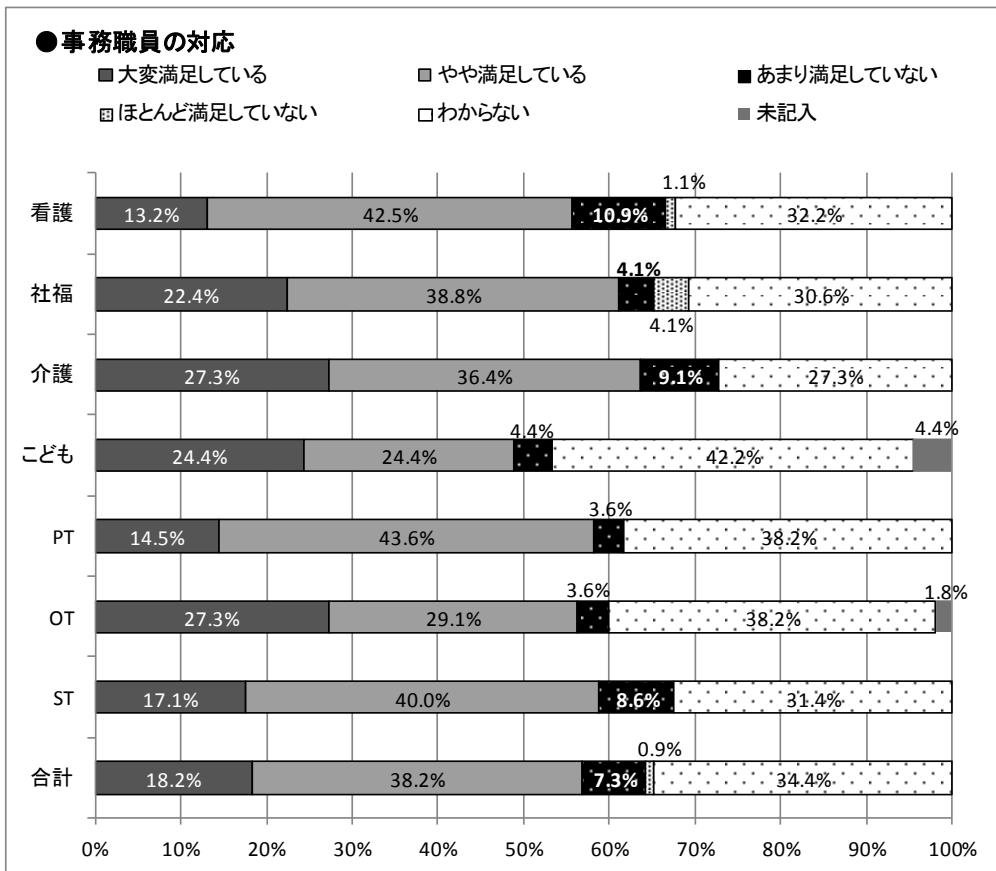
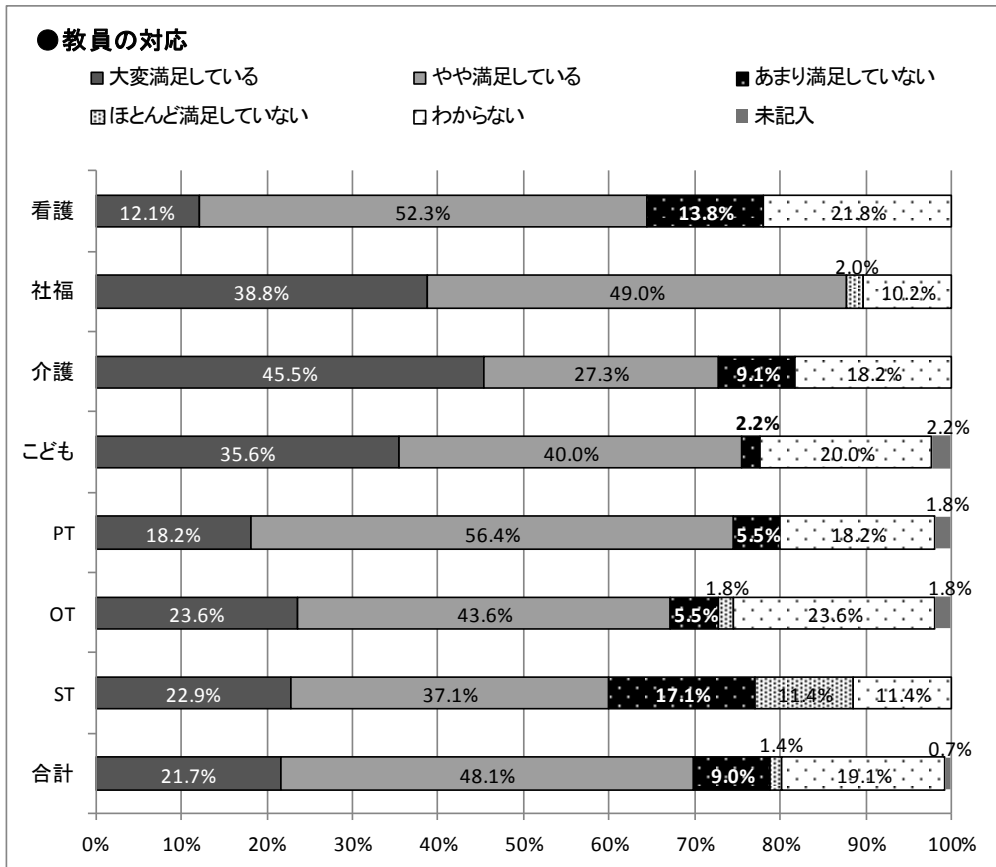
問. 大学の教育や学生生活等の支援について保護者として満足していますか。【学科毎の数値】

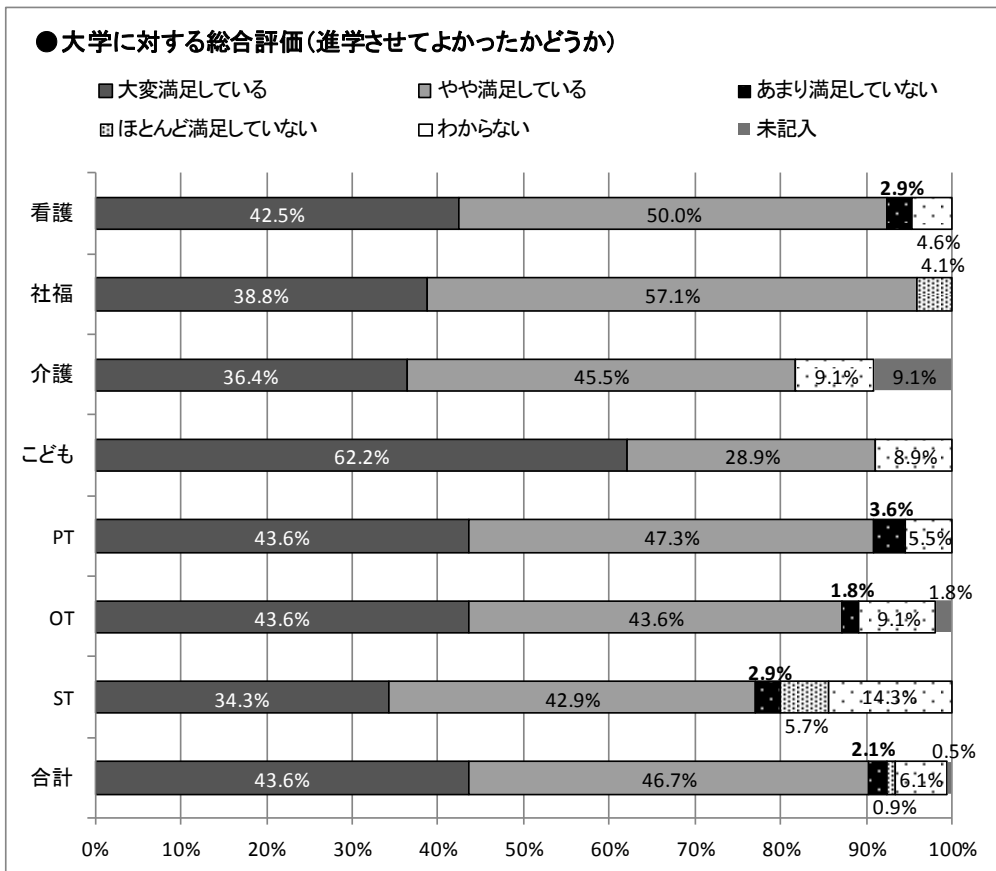
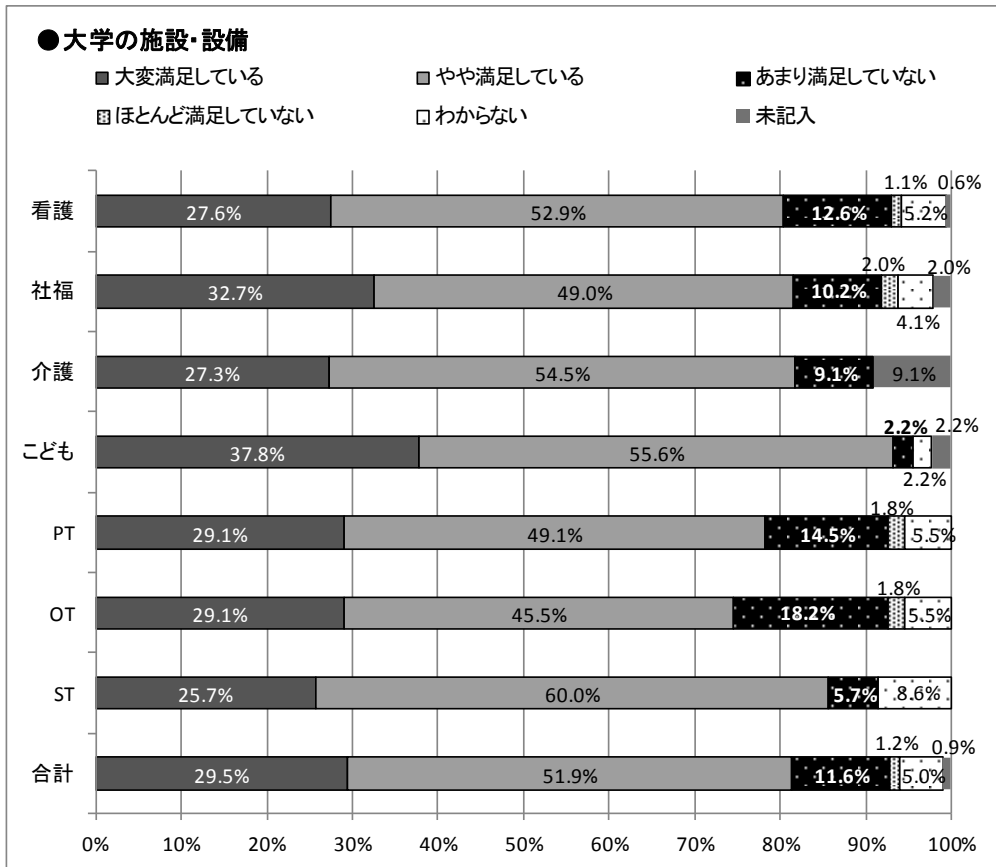


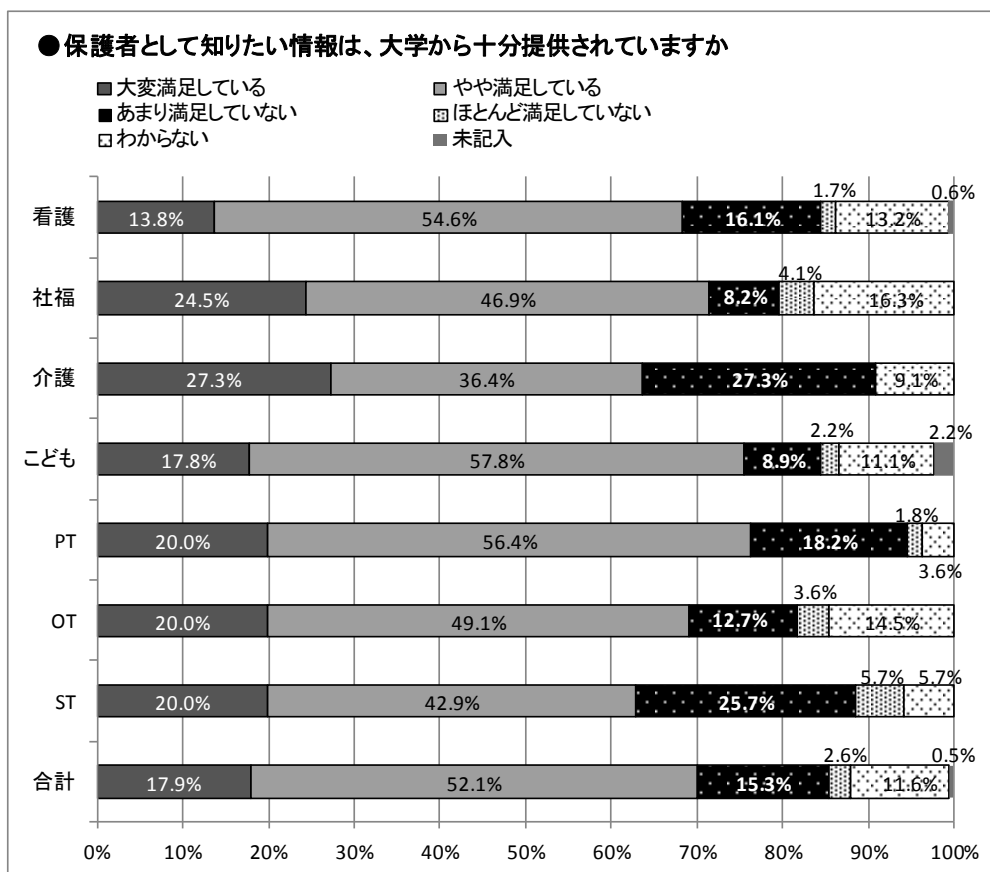




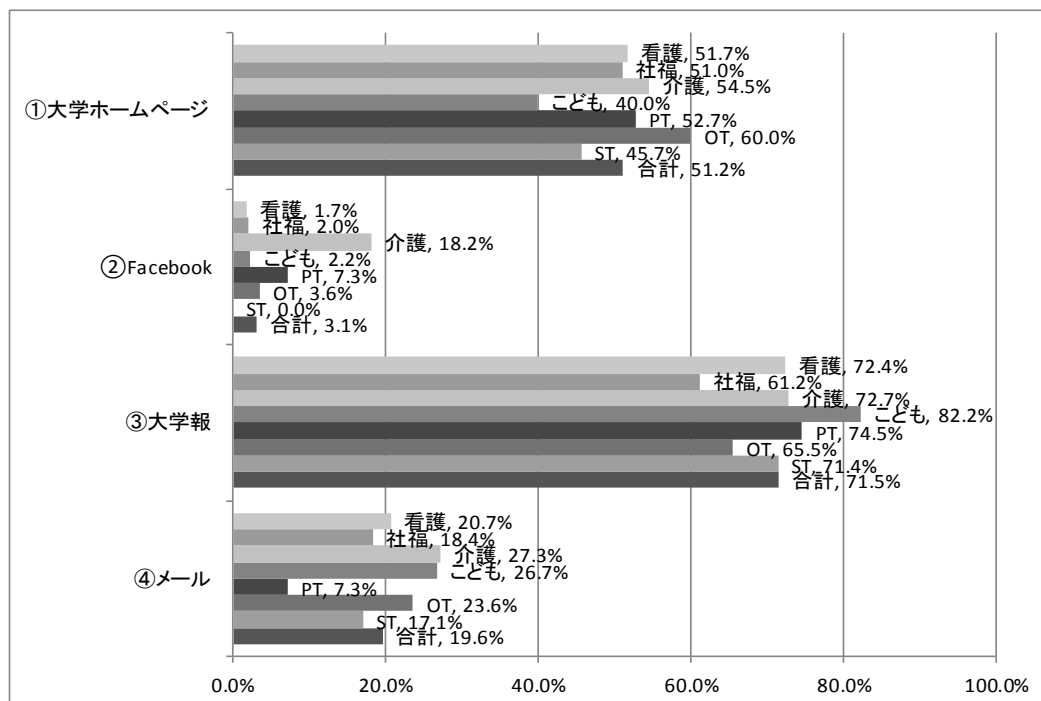




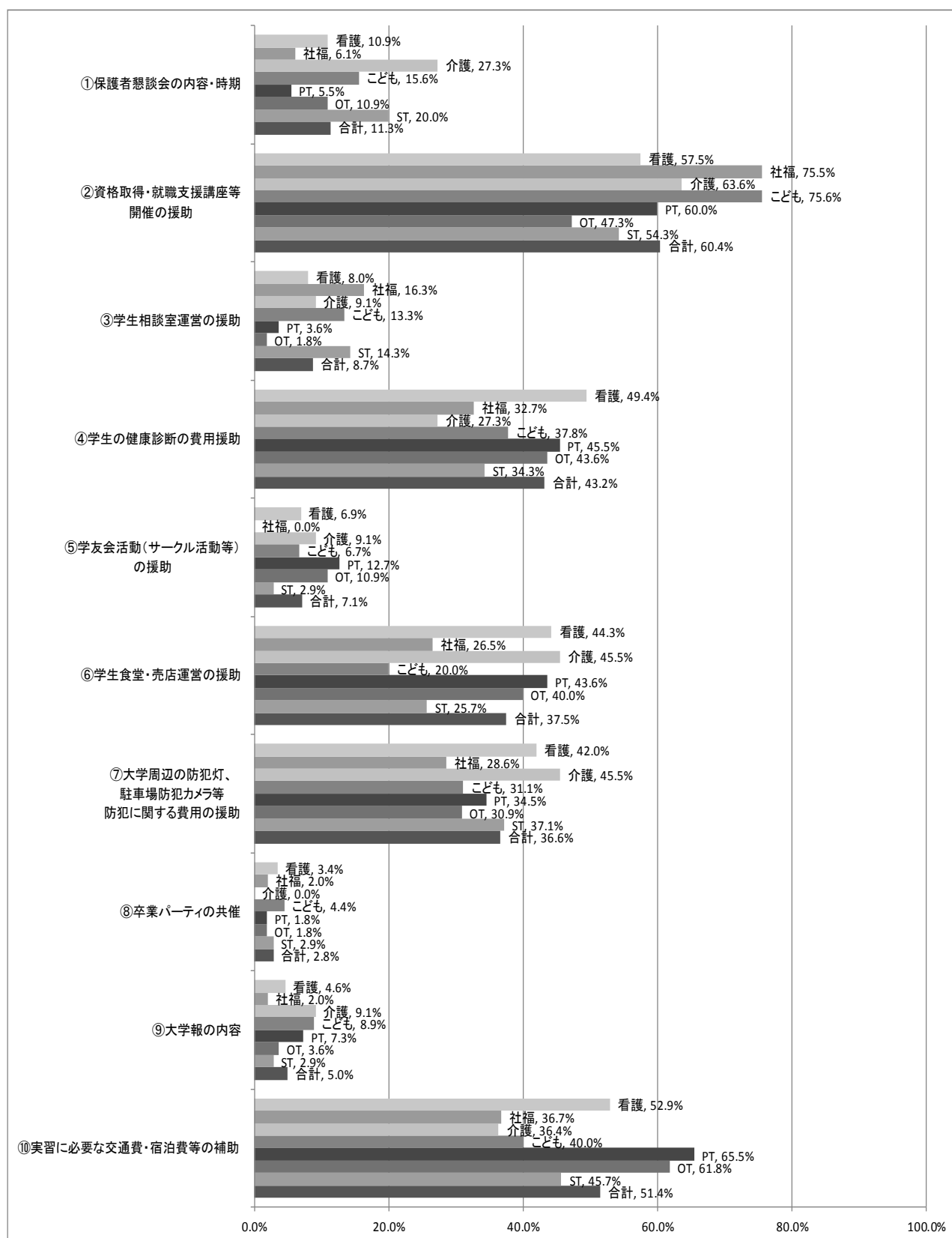




問. 大学から発信される情報を得るのに利用しやすい手段はなんですか。(複数回答可)



問. 後援会では下記事業を行っています、より充実力を入れたほうがよいと思うことは何ですか。(複数回答可)



2012 年度保護者満足度調査自由記述と質問への回答

2012 年度保護者満足度調査に多くのご質問・ご要望をお寄せいただきまして、誠にありがとうございました。お寄せいただきましたご意見・ご要望すべてに回答することはできませんが、[質問・要望に対する回答]として次ページ以降に回答させていただきます。

また、自由記述に本学の教育に対して好意的なコメントもいただきましたので一部ですが下記にご紹介いたします。

今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

[自由記述の一部の紹介]

- ・ あっという間の 4 年間でした。時間をかけて学ぶことができてよかったです。3 年間(短大や専門)でなく 4 大を選んで良かったとつくづく感じています。いよいよ職につくので、今までと違った不安、心配もありそうです。卒業後も変わらず御支援頂ければ幸いです。〔看護学部〕
- ・ こちらの大学で学べた事自体がよかったのではないかと思います。まだ社会にはでてない訳ですが聖隷で学んだ質の良さを社会にでて生かしてほしいと思っています。〔看護学部〕
- ・ 入学する前は、公立の看護学校(3 年)と迷いましたが、今は聖隷で 4 年間、みっちり学ぶことができ、よかったと思っています。〔看護学部〕
- ・ 静岡県西部方面は聖隷関係の充実した病院のお陰で助かっている人は多くいます。私の家族も助けてもらいました。そこに娘が進学できた事は大きな喜びです。〔看護学部〕
- ・ 娘は 4 年間充実し楽しく大学生活を過ごし、とても感謝しています。進路指導もしっかりやってくれ、就職先も決まりホッとしています。〔社会福祉学部〕
- ・ 高校もクリスチャーでしたが、それ以上に大学も素晴らしいと思います。親として何か、何か安心感があります。〔社会福祉学部〕
- ・ 聖隷は地域に根ざした大学(学校)として、地域から愛される“アットホーム“な大学になってほしい。人間の出生～終末までかわりの深い大学は全国的に見ても珍しいと思うので、その長所を生かして発展していただきたい。〔社会福祉学部〕
- ・ 2 人目の学生です。姉の時に、実習先は遠かったのですが、本人にとって良い実習先となりました。又、国試の時も細かな所、時間をかけて相談にのっていただいたり勉強面を見て下さりとても感謝していました(本人)。科が違いますが妹も入学させました。〔リハビリテーション学部〕
- ・ 息子が話してくれる大学での様子が、とてもよい環境・雰囲気だとの印象を受けています。親も本人もここに進学したことは間違いではなかったと大変感謝しています。息子の家での話を聞いていた次男も夏休みに複数校のオープンキャンパスに参加しましたが最終的に「自分もどうしてもクリスチャー大学に行きたい」と言い、4 月から兄弟そろってお世話になることになりました。息子たちの勉強の面だけではなく人間として大切なことをたくさん学べる場だと思っています。〔リハビリテーション学部〕
- ・ 希望していた大学に入学でき、自分の夢に向かって勉強でき、先生方に丁寧にご指導していただき、とてもうれしく思っています。〔リハビリテーション学部〕
- ・ 進路、就職について、指導者の皆様、先生方、就職サポートセンターの職員の方々にはいつも親切にいただいたと聞いております。時には厳しい指導でへこんだこともありましたが、本人の糧になったことと思います。本当にありがとうございました。〔リハビリテーション学部〕

【質問・要望に対する回答】

教育 学生支援 就職支援 施設・設備 情報提供

(1) 教育

【看護学部】

(質問) 講義中の私語が昨年と比較してもさらに目立つようになったと聞いています。講義に集中できる環境づくりをお願いします。

(回答) 授業中の私語への対応は、大学として5年ほど前から取り組んでいます。教員の側では授業中の私語を減らすための対策として「私語攻略ハンドブック」(2008年4月全学FD委員会編)を作成し全教員(専任教員、非常勤講師)に配布し実行しています。さらに、2011年度にはより良い授業は学生・教員の協働の上に成り立つと考え「受講マナー改善のための申し合せ」を作成し、教員が受講マナーについて事前に学生に提示し私語の少ないよい授業となるように学生と共に努力をしています。

(質問) 実習に出る前に実習目的や内容などがわかると、保護者としても支援しやすい。

(回答) 看護の臨床実習の目的は、履修要項に記載してあるように「地域・臨床などの実際の場で、様々な健康障害を持つ人に直接関わり対象を総合的に理解して看護を実践するために基礎的な知識・技術・態度を学ぶ」としています。場所や施設内容を含む実習内容については学生に「実習の手引き」や各領域の「実習要項」を配布し指導しています。個人情報保護の観点から、臨地実習に関する情報を全てお知らせすることはできませんが、現場の中で学ぶ臨地実習は学生にとって月単位の長丁場となり、身体的にも精神的にも厳しいものです。ぜひ、保護者の皆様には学生の体調管理、精神的励ましのご支援をお願いしたいと思います。

(質問) 実習内容が記録中心になりすぎているようです。実技にもっと力を入れないと卒業後の戦力にならないと思います。

(回答) 実技には、提供する患者にとって必要な看護技術を適切に、安全に、安楽に、実践することが求められます。そのため、本学では、演習、実習の強化に努力しています。また、実技を記述することは学生の実技への思考を整理させ、臨床実践能力を養うことにつながると考えます。卒業後は、病院等において、新人看護師に対する継続教育の充実が図られています。

(質問) 実習の時に駐車場の確保、公共交通機関の問題があるようです。

(回答) 実習施設への自家用車の通学は、実習施設を利用する一般の方の駐車場利用に影響を与えるため禁止とし、公共交通機関を利用するよう説明しています。そのため、教員側も実習施設への公共交通機関を調べ通学可能な学生の範囲を確認したうえで配置をするようにしています。

(質問) 質問を質問で返されることが多く、結局質問の答えがわからず終わってしまうことが多いようです。

(回答) 教員としては、できるだけ学生に解決の導き方を学んでほしいと考えています。そのため、学生の質問に即解答を与えるのではなく、できるだけ学生が自ら解決を見出せるように、質問に対して「どこがわからないのか」、「どこまでわかっているのか」を学生に問いかけながら、学生とともに答えを見出していくように指導します。しかし、学生が答えを得られたと思わなかったということならば、教員側も最後に質問の解答をどのように理解したか、納得したかを確認するように改めたいと思います。学生の質問は教員にとって教え方の振り返りになりますので、遠慮せずに教員に積極的に質問してほしいと思います。

(質問) 全員の教員ではないが、教育面、接し方についてバラツキがあるように思います。

(回答) 学生一人一人の個性や学習準備状態、心身の状態に合わせたきめ細やかな指導を心がけているため、一見すると学生それぞれとの関わり方が異なるように見える場合があります。しかし、いずれの場面においても「単位を習得し、専門職者として必要な技量を身につける」という目標を達成するための関わりであることは一貫しています。今後は学生の学習に対する達成感、満足度を一層高めるために教育方法の改善や創意工夫を図っていきたいと思います。

- (質問) 養護教諭課程の学生は、4 年次の実習と国家試験の勉強が重なって大変になると聞きました。学校側では何か配慮をしてもらえることはありますか。
- (回答) 養護教諭課程の 4 年次生は、9 月に 3 週間の「養護実習」があり、8 月にはその「事前指導」を履修します。また、秋セメスターには「教職実践演習」を履修することになります。これらは養護教諭 1 種免許取得のためには必ず受講しなければならない科目ですが、これらの実習や演習を履修することにより、養護教諭課程の学生が不利にならないよう、看護師国家試験対策講座の日程や国家試験対策の勉強時間の確保について今年度は以下のような調整をしました。
- ①8 月に行う外部講師による国家試験対策講座と養護実習事前指導が重ならないように日程を組んだこと、
 - ②秋セメスターの「教職実践演習」の日程も国家試験対策講座と重ならないようにしたこと、
 - ③さらに、「教職実践演習」については集中的に開講して 11 月中に終わらせるように日程を組み、12 月以降は国家試験対策の勉強に集中して取り組めるようにしたことです。
- 養護教諭課程の選択の有無にかかわらず、授業・実習・就職進学対策とともに、国家試験の学習を行うことは大変でしょうが、国家試験の勉強は 4 年次生だけで行うだけでなく 3 年次生までの学習の積み上げですので、低学年から各科目をしっかりと学習することがまず重要だと思います。また、4 年次生には各自が、自分の 1 年間の予定を踏まえて、計画的に、日々国家試験に向けての学習に取り組むようオリエンテーションしています。
- (質問) 空き時間が多いことに驚いています。保健師と養護教諭一種の希望をしていますが、この空き時間を資格取得のために使えないでしょうか。
- (回答) 大学には複数の課程が同時並行で進んでいることや多くの選択科目が置かれていることから、学生の時間割はそれぞれ異なり、空き時間が生じることがあります。また、養護教諭課程、保健師課程で履修しなければならない科目は、カリキュラムの順序性を配慮して学年配置がなされています。今後、学年進行につれて履修すべき科目は増えるので、空き時間は少なくなります。大学においては空き時間は、授業の事前・事後学習や興味のあるものをさらに深めるための自己学習に活用することがとても大切です。その対策の一つとして、本年度から自由な学習スペースを新図書館に確保していますので、空き時間を自己学習の時間として活用してほしいと思います。学生に対しても大学の講義の持つ特徴を理解して、学習内容が身につくように指導していきます。
- (質問) ・4 年次の講義は国家試験に 100%必要とされているものでしょうか。
・統合実習（統合演習）の実技テストの時期を変えてほしい。（模試の勉強もあって大変です）
実技テストの時間配分が短すぎるのでは。
- (回答) 4 年次に開講されている講義は、本学の卒業認定に必要な単位に含まれる科目であり、これらの単位修得により看護師国家試験受験資格が得られます。4 年次の科目は、平成 21 年のカリキュラム改正によって複雑・高度化する医療環境の変化に対応できる臨床実践能力を習得できるよう新たに設けられた「看護の統合と実践」分野の科目です。これらの科目は、それまでの各看護領域の学習より、より臨床実践に近い形で学習し、知識・技術を統合し、卒業後に臨床現場にスムーズに適応できることをねらいとしています。また、統合演習では、卒業時の看護技術の達成状況を明確にするために、これまでの学習の中で習得した看護技術の総合的な評価を行っています。そのためこれらの 4 年次科目は、応用的でより高度な内容になっています。一方、国家試験においても、診療現場を想定した症例形式の状況設定問題が増加する傾向にあり、4 年次での実習や演習を通じて得られる知識・技術が非常に重要になってきています。
- (質問) 成績表の郵送をお願いしてあります。特に学年終了時には年度内に郵送してほしいです。
- (回答) 学生には、春セメスター開講科目は秋セメスター開始時に、秋セメスター開講科目は、次年度の春セメスター開始時に成績表を配布しています。保護者の皆様への成績表の開示は、個人情報保護の観点から保護者の皆様と学生本人の保護者への開示・郵送の了解のもとに年 1 回郵送しています。郵送の時期は、秋セメスター開講科目の成績発表後になりますので、その年度内の郵送は困難となります。他に、秋に開催する保護者懇談会では、出席される保護者の皆様に希望により成績表を開示して学生の学習状況の説明をしています。

【社会福祉学部】

●社会福祉学科

(質問) 授業中の私語が多いようです

(回答) 私語や受講マナーに関しては、教員間で「学生の受講マナー向上のための申し合わせ」を行い、取り組んでいます。また、今年度から、1年次生春semesterに開講しました、フレッシュマンセミナーでも、受講マナーやスタディスキルに関して扱っていきます。また、2年次生以上に対しても、各semester開始時のガイダンスや各教科で呼びかけると共に、学生同士でも注意を促すように声掛けを行っていきます。

(質問) 実習が少ないようです。

(回答) 社会福祉学科では、自分の希望する領域を決めるために1年次より科目が準備されています。たとえば、1年次の「インターンシップ入門」では高齢者や障害者施設などで4日間の実習体験をします。2年次は「インターンシップⅠ」があり、自分の希望する領域の実習先で半日実習を10月から12月に掛けて、計10日間行います。このように、自分が将来進む領域や進路を模索しながら、3年次に社会福祉士資格取得のための実習を、原則23日間実施します。また、将来の進路について福祉実習（インターンシップ）で多様な実習を組み立てることが可能です。更に、4年次には、選抜制ではありますが、精神保健福祉士取得のための実習を、原則23日間実施します。

(質問) 聖隷福祉事業団への就職が困難なようです。

(回答) 就職のことや就職支援のことなど、早めに情報をお伝えするようにこれからも努めます。社会福祉学科学生の聖隷福祉事業団への採用については、年によって状況が変化しますが、静岡県外にある聖隷福祉事業団の施設も視野に入れると可能性が高まると思います。

●介護福祉学科

(質問) ・学校側が学生の相談に耳を傾け、親身になって応える姿勢を見せてほしい。

・教師が学生の話を聞いてあげようとする気持ちが大事なのでは、教師からも学生に話を振り、聞いていこうとするべきではないですか。

(回答) 学生の思いを受けとめるために、4月11日に2年次生から4年次生を対象に在校生と教員の懇談会を行いました。学生からは「こういう場を設けてくれたことがうれしかった。」という声が多く出ました。また、アドバイザーを中心に、マンツーマンで相談に応じる個別面談を強化しています。特に3年次生はコース制の変更等、科目履修の悩みも多いと思われましたので、4月当初より個別面談を開始し、現在2巡目（一人の学生に対し2度目の面談中）の個別面談を行っています。5月には3度目の個別面談を行う予定です。1度の面談は30分から1時間にわたり、学生が多くの悩みをアドバイザーに話してくれています。プライバシーに配慮しながらこれらの情報は学科会議で共有し、学生支援の強化を図っています。3年次生以外の学生についても、教員間で情報を共有しながらきめ細かな学生支援と、より親身な関係を作っていくように取り組んでいます。

(質問) ・保護者に対しての情報をもう少し提供してほしい。

・学生だけでなく、保護者にも現在の状況を伝えてほしい。

(回答) 在校生（3年次生）については、2年次の秋semesterに2度、3年次でも1度、コース制についての説明を行っています。4月の在学生対象の教員との懇談会時に、保護者の皆様からも質問等を積極的にお受けしたいので、その旨を伝えるよう説明をしました。7月の保護者懇談会に先駆け、6月中旬に保護者の皆様対象の面談日を設定し、郵送でご案内しました。

●こども教育福祉学科

(質問) 就職活動支援に関する情報提供をしてほしい。

(回答) 昨年度の保護者懇談会においては全体会ではパワー・ポイントを用いて就職支援について説明しました。また学年別（主に4年次生）に、具体的な就職活動の内容、質疑・応答を行いました。今年度は、「キャリアガイドブック」を7月の保護者懇談会の際に（社会福祉学部）保護者の皆様に配布し、就職支援に関してより、丁寧な説明、情報提供を行う予定です。保護者懇談会に出席しなかった保護者の皆様に対しても資料を送るなどの手段を講じて、就職活動支援の情報提供に努めます。

聖隷福祉事業団、天竜厚生会への就職情報に関しては、聖隷福祉事業団、天竜厚生会との協議会の際に話し合われた内容で、適当なものをまとめて資料とし、保護者懇談会等で保護者の皆様に伝えるようにします。

- (質問) ・実習先は希望通りにならないのですか。
・実習期間はどのようになっていますか。
- (回答) 幼稚園・保育所実習は、学生自身が実習先を選択し、依頼するようになっております。児童福祉施設の実習は、契約施設において実施するため、場所が限定されており、希望者が受け入れ人数より多い場合には調整を図っています。
- 幼稚園実習は4週間、保育所実習は4週間、児童福祉施設は2週間というような実習期間となっております。それに加えて社会福祉士資格取得希望者はソーシャルワーク実習を23日間実施しています。その他、ボランティア、自主実習、インターンシップを通して、現場での体験を奨励・指導を行っています。自発的、積極的に現場経験を積み重ねている学生もいます。

【リハビリテーション学部】

●理学療法学科

- (質問) 先生によっては、ずっと教科書を読むだけ、生徒の方をほとんど見ることもなく話をする先生など、いらっしゃるようです。充実した授業を行ってほしいです。
- (回答) ご指摘いただきました内容を各教員が意識して、授業改善に取り組んでいきたいと思っております。今回は、現在実施している大学での対応を回答いたします。大学では、各科目において学生による授業評価を実施しております。その結果をもとに、セメスターごとに教員自身が講義の振り返りを行い、また学部長・学科長による指摘・指導を通して授業改善に努めています。この授業評価に対するコメントは大学のホームページからも閲覧できます。また、学内においても教員を対象に、教育力向上のための研修会も開催しています。今後も、学生にとって、満足度が高く、学修目標が到達できる授業を実践していきたいと思っております。
- (質問) 教授からの要求が厳しいと聞きます。課題の出し方、グループワークの進め方を検討してほしい。
- (回答) 本学は、大学生としての教養を学ぶとともに、国家資格を取得する専門職を養成する教育機関でもあります。そのため、カリキュラムは密に組まれており、また、よりハイレベルな講義を展開できるよう、各科目とも様々な工夫がされております。その一つに、アクティブ・ラーニング(学生の能動的学習形態)の実践が挙げられます。そのため、これまで学習形態では経験の少なかったグループワークや課題学習を中心に講義が展開されることも少なくありません。これまでも、教員間での連携を密に取りながら、課題調整等を行ってまいりましたが、確かにある一定期間に課題が集中してしまうこともあり、改善が必要と思われます。今後はこれらの点を改善し、学生の学修スケジュールを考慮し、教員間での課題配分等を調整していきます。

●作業療法学科

- (質問) 就職に繋げるためにも静岡県内の実習地を増やしてほしい。
- (回答) 作業療法の臨床実習はマンツーマンの指導が基本となります。臨床実習を依頼する際には、大学および学生の出身地になるべく近い施設に対して交渉をしております。ただし、本学科の臨床実習地は、受け入れ先に十分な実習指導体制が整い、豊富な指導経験を有する作業療法士が充足していることを前提としておりますので、この条件を満たす施設数には限りがあるのが現状です。また、多くの臨床実習施設が1つの学校から学生1名を原則としており、どうしても県内だけで全ての学生の受け入れ先を確保するのは困難となりますので、現状を解決するにはもう少し時間を要する見込みです。本学の取り組みとしては、県内実習施設の拡充のために毎年実習生を引き受けていただく施設の調査や、卒業生のいる施設への実習依頼などとして、県内での実習地確保に努めています。保護者の皆様には、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。
- (質問) 就職活動における具体的な情報の開示をしてほしい。
- (回答) 作業療法士の求人数は十分な数を有しておりますので、具体的な就職活動は、一般企業の就職活動とは異なり、最終学年である4年次を中心として行われます。具体的には、学内病院説明会(8月、9月頃)、卒業生による就職講演会(8月頃)を開催し、学生個々人の進路選択に丁寧に対応しております。このような背景により、保護者の皆様から見て具体的な就職活動が分かるようになるのは、かなり後半になります。しかし、本学では低学年向けに、年間を通してパンフレット(学科案内、低学年向け就職ガイドブック先輩の声、職種紹介キャリアブックレット)の配布、各種講座(ビジネスマナー、コミュニケーション講座)の開催をしておりますので、これらの活動が早期から保護者の皆様の目に留まるような工夫をしていきたいと考えております。

●言語聴覚学科

(質問) 実習地はどのようにして決めているのでしょうか。実習先の指導者との相性が心配です。

(回答) 学生には領域（小児、成人、聴覚など）や施設の特徴（急性期、慢性期、療養型など）についてアンケート調査で希望を聞き、さらにできるだけ多くの経験ができるよう3回の実習先に偏りが出ないように配慮し、そのうえで実習指導者との相性も考慮に入れて配置を決定します。臨床実習指導者は5年以上の経験を有する言語聴覚士と定められています。実習施設はできるだけ学生の希望や特性に合った施設を選択したいと思っていますが、実習施設の数や5年以上の経験という実習指導者になれる条件の指導者の数も少なく、すべて希望通りというわけにいかないのが現状です。また、近隣と遠方の施設が平等になるよう配慮していますが、臨床教育力の高い実習指導者のおられる施設を厳選していることもあり、大学近隣での施設数には限りがあり遠方になることもありますことをご理解いただきたいと思います。実習指導者会議では指導者から学生に実習にあたっての心構えなどを直接聞く機会を設け、不安が解消できるよう配慮をしています。

(質問) 学生への指導の仕方が気になります。怒られたと受け取り、落ち込んでしまうことがあります。

(回答) 学生が将来臨床現場でチームの一員として責任ある立場で対象者に対応していくために、教員は適切なことばかけで具体的に指導することを心がけていますが、約束や提出期限を守ることなどの注意にも「怒られた」「叱られた」という感覚を持って受け取られてしまうことがあるようです。このような学生が多くなっていることを踏まえ、学生を指導する際には、さらに改善すべきことをわかりやすく伝え、改善した時にはしっかりと認めてほめるなど、学生にフィードバックすることを心がけていきます。また、教員の学生指導の在り方については、在学生の満足度調査結果や、学部長が学生面談を行い学生の率直な意見を聞くなどして、問題点を確認し、それを学部長（学科長）から教員へフィードバックして、教員の指導方法の改善に努めます。

●リハビリテーション学部 3 学科共通

(質問) 実習の際に宿泊が必要となると余分なお金がかかる。実習宿泊費のことについて教えてほしい。

(回答) 臨床実習は専門職業人として必要な知識と技術を修得する最も重要な科目です。実習先につきましては、学生自身の特性、実習地の特性を考慮して、科目担当者を中心に協議を重ね、学生にとって最も適した実習となるよう配置をしております。

実習宿泊費の費用負担につきましては、3年次、4年次それぞれの臨床実習に係る宿泊費の合計額の1/3を大学で負担し、2/3の金額に対して後援会から2年間で140万円（3年次40万円、4年次100万円）の補助をいただき、残額をご負担いただいておりますが、集金額は宿泊施設利用の有無に関わりなく、全員が均等負担とさせていただいております。近隣の施設で毎日の交通費がかかる負担を調整するため、全ての学生が1回は実家または下宿から実習地に通えるよう考慮しております。

(2) 学生支援

【健康支援】

- (質問) ・大学の病院にかかった時に費用補助をしてほしい
・隣接する病院で診察してもらうことは無理なのでしょうか？
・聖隷病院がありながら、風邪などで総合病院へ行くほどの緊急性がないと診察してもらえないのは残念

(回答) 聖隷クリストファー大学と聖隷三方原病院は隣接していますので病院が大学附属病院の様に見えるかもしれませんが、密接な関係にあります。聖隷クリストファー大学を運営する聖隷学園と聖隷三方原病院を運営する聖隷福祉事業団は別法人であり、病院は附属病院ではありません。聖隷福祉事業団が職員を対象に行っている医療費の補助は、病院の健康保険組合、互助会が独自に福利厚生事業として実施しているものです。(聖隷福祉事業団のホームページより) したがって本学の学生や教職員はその対象ではありません。まずはこのことをご理解いただけますようお願いいたします。

大学に診療所がある例として東京都内の私立のK大学では、学生健康保険に加入している学生は学内診療所に受診した際に診療費の半額をK大学学生健康保険互助組合が負担しています。ただし健康診断書など保険が適応されない場合は自費となります。本学には診療施設、大学生協がないので、このような仕組みを作ることは現状では困難です。

聖隷三方原病院への受診を、大学として制限しているということはありません。

大学の健康管理センターでは、学生の心身の健康についての相談に応じています。要受診と思われる場合には、その症状に応じて、近隣の開業医（多くは徒歩圏内にあり、もと聖隷三方原病院の診療医）を紹介したり、必要があれば、聖隷三方原病院に受診するように勧めたり、緊急性が高い場合は受診の手配、付添を行うこともあります。

しかし、風邪などで緊急性が低い場合に、聖隷三方原病院へ紹介状を持たず予約なしの受診となると、待ち時間が長いばかりでなく、選定療養費（3,150 円）が別途必要になるので、学生の利益にならないためお勧めしておりませんが、それでも聖隷三方原病院への受診を希望される場合にはその希望を尊重して対応しています。

- (質問) ・特に一人暮らしの学生のケアのもっと気にしてほしいと思います。
・下宿学生のため、病気になった時（発熱、風邪等）相談でき、サポートしていただけると心強い。

(回答) 今年度は4月に2回「一人暮らし簡単料理講座」を全学部1年次生対象に希望者を募り実施しました。今後も初めての一人暮らし戸惑いが多い1年次生を中心に支援方法を検討してまいります。

一人暮らしの学生が病気になった時、学生本人だけでなく保護者の皆様もご心配になることと思います。学内であれば大学で病院紹介、受診指導等可能な対応はいたしますが、時間外あるいは、下宿での病気となると対応できません。日頃から、病気になった時のことを想定して、家族との連絡方法、受診先、非常用の食料や常備薬の準備、家族の誰が看病に来られるのか？等を話し合っておいてください。

また日常の健康管理として特に慢性疾患がある学生は、受診や治療を怠らないように、ご家族から定期的に確認をしていただくようご協力をお願いします。

- (質問) ・健康診断をやってくれるのはありがたい。できれば無料がよいのですが。
・健康診断の費用の一部を負担してくれるとありがたい。

(回答) 1・2年次の健康診断で行う小児感染症抗体価検査については、個人負担となっておりますが、それ以外の項目については後援会と大学で費用を負担していますので、個人負担はありません。小児感染症抗体価検査は、医療系の大学や教育系の大学では、感染予防対策上非常に重要な検査です。検査費用が高いため保護者の皆様の負担感が大きいと思いますが、毎年行う検査ではありませんので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

- (質問) ・インフルエンザ等の予防接種は強制で学内でこなしてほしい。親が言ってもなかなか行かず実家に帰ってきたときに強制的に行かせました。
・予防接種等は聖隷の病院を利用できたらいいと思います。

(回答) 大学生への予防接種は法律上「任意」とされています。さらに未成年者は保護者の皆様の同意も必要です。大学が学生に対して強制的に予防接種を行うことはあってはならないことです。

聖隷三方原病院に確認したところ、一般の方を対象に予防接種は行っていないとのこと。聖隷三方原病院で治療中の疾患がある方についてのインフルエンザワクチンの接種は行うそうです。

【防犯】

(質問) たびたびロッカーでの盗難が発生しているようですが、解決策はどのようになっていますか。

(回答) ロッカー室の入口はオートロックで常に施錠されており、学生は暗証番号を入力して出入りしています。ロッカーで物がなくなった学生に事情を聞くと、個人ロッカーの外に置いてあった、ロッカーの鍵をかけていなかった、ダイヤル錠 4 ケタのうち 1 ケタしか回していなかったなどの回答が多く返ってきます。

大学では、盗難の場合、学生に盗難届を出してもらい警察の現場検証を受け、ロッカー内に注意掲示を貼付して注意を促しています。注意掲示に①ダイヤル錠 4 桁をしっかりと回し暗証番号を類推できないようにすること、②人に暗証番号を教えない③貴重品は身に付けておくなど自衛をしてもらうように呼びかけています。また、他の人に自分の暗証番号が見えないようにダイヤルにカバーを付けるなどの工夫をしています。

(質問) ・学校周辺の道がやはり暗いと思います。学校だけでなく地域の方々と防犯対策として協同で照明などの対応をしてほしいと思います。
・体育館から駐車場～第 2 駐車場方面は樹木や雑草が生い茂るとより暗さを感じる。街灯を増やしたり、雑草を刈るなどした方がよいのではないかと思います。暗くなると怖い感じがする。
・大学周辺・駐車場周辺は夜、人通りが少なく、また暗い所が多くある様に思います。

(回答) 2009 年度から毎年度、後援会の予算から 100 万円程度を支出し、優先度の高い場所から外灯を設置しています。第 1 駐車場から第 2 駐車場への経路など大学周辺の道路については、大学だけで設置できないため周辺自治体に設置してもらえよう働きかけます。

【アルバイト】

(質問) アパートの紹介は助かったが、アルバイトを紹介してほしいと思います。情報が古くて使えるものが少なかったようです。

(回答) 大学としてアルバイトを紹介する場合、安全や授業への影響などを考慮して、業種・勤務時間(22 時まで)など一定の制限を設けています、そのため紹介件数は多いとはいえません。また、紹介期間については、通年募集や期限付きなどがありますので、依頼者と募集期限を明確にしたうえで、紹介をするよう徹底します。

2013 年度からは、学業との調整指導や事故・事件防止を目的として 2 週間以上のアルバイトをする学生に「アルバイト届」を提出してもらうことにしました。アルバイト状況を把握する一方で、適切なアルバイトのタイムリーな紹介ができるよう改善を図ります。

【奨学金】

(質問) 各病院から出ている奨学金制度があると聞きました。どのような方法で借りののか、金額や勤務年数など知りたいと思いました。

(回答) 多くの病院には奨学金制度がありますが、これは看護師募集と連動しており就職等に関する条件が付きま。病院から大学に奨学生の募集要項が届いたものは、就職センター内に設置されている病院紹介ボックスに入れてありますので、奨学金を申し込む際は、学生が自分で就職を希望する病院のホームページ等で、まず調べみることをお勧めします。その上で、先生や就職センターに相談しながら進路を考え、それにあった奨学金を探すよう、保護者の皆様からもアドバイスをお願いします。

【ボランティア】

(質問) 子どもがもう少しボランティアに興味を持ち参加してくれるとよいと思います。どんどん声をかけてください。

(回答) 保健医療福祉の専門職を育成している本学としても、ボランティア教育・活動に力を入れたいと考え、昨年度から順次、3 学部ボランティア科目を教育課程に盛り込みました。2012 年度には「ボランティア論」を開講、2013 年度秋 semester からは「ボランティア演習」が開講され、学生のボランティア活動が単位認定されます。また、近く、ボランティア活動推進室(学生サービスセンター内)にボランティアコーディネーターを配置しサポート体制を充実させます。コーディネーターはボランティア推進室でボランティア保険への加入手続き、ボランティア情報の紹介とアドバイスなどを行い、またフェイスブックで情報を発信するなどして、大学ぐるみのボランティア活動活性化を支援します。

なお、ボランティア保険は、募集時期の 4 月と 10 月に加入を申し込めば、保険料 300 円は大学が負担しています。(ただし 325 名まで)

(3) 就職支援

(質問) 大学の就職支援について教えてほしい。

(回答) 就職支援は、各学部学科の先生方で構成されている就職部と就職センターを中心に全学を挙げて行なっています。

各学部学科とも、1年次秋セメスターの就職ガイダンスで、日々の授業・実習を大切にすること、応募から内定、採用までの就職活動のスケジュールの説明を行ない、就職支援を開始します。

1・2年次では、将来の目標について考える支援をしています。具体的には、看護学部、リハビリテーション学部では基礎演習、社会福祉学部ではフレッシュマンセミナーの授業でキャリアデザインについて学びます。

3・4年次では、先輩の就職活動体験を聞く就職活動報告会、卒業生から直接話を聞く卒業生と在学生の懇談会、病院・施設の人事担当者をお招きして学内で行う病院・施設説明会を開催し、志望先について理解を深める機会とします。これらの就職行事は、1・2年次生も参加することができます。専門職としてのキャリア形成を図るために、本学では地域で活躍する専門職者の方による講演会を開催し、専門職としての働き方について理解を深めます。また、キャリアデザイン講座を開設し、自己理解、就職活動における実践的なスキルを高めていきます。

また、エントリーシート・履歴書の添削、模擬面接など、個別の就職支援プログラムを実施しています。希望する学生は、納得するまでエントリーシート・履歴書の添削、模擬面接を受けることができます。求人情報は就職センターで閲覧できるほか、ホームページ、Email、facebookでも見ることができます。

就職センターでは、保護者の皆様からの就職に関するお問い合わせにもお答えしますので、お気軽にご連絡ください。(就職センターTEL：053-436-7233)

(4) 施設・設備

【食堂・売店】

(質問) ・学食を充実させてほしい(広さ・値段・味・量・栄養面・メニューが少ない・営業時間)。

・売店を充実させてほしい(広さ・品数・営業時間)。

(回答) 2号館2階の旧歴史資料館スペースを80名程度収容できる学生ホールに改修し、また新しい5号館の2階に50名程度収容の学生ラウンジを新設しましたので昼食時の混雑は緩和される見通しです。売店も2号館2階に移転したことで売場面積は約1.5倍に広がり、取り扱う商品の種類・量等も充実しました。

食堂の運営は外部の業者に委託しています。皆様からのご要望にすべてお応えすることはできませんが、寄せられた意見をもとに可能な範囲で要望に沿えるよう食堂運営者と大学で話し合いをしています。メニューについては2013年秋のリニューアルに向けて検討していきます。なお、食堂・売店への要望等については、学生ホール内に設置されている“ご意見箱”で随時受け付けていますので申し添えます(食堂運営業者に直接声が届きます)。

【空調】

(質問) 冬は寒く、夏は暑いなかで授業をしているとのこと。空調が設備されているなら、適温にしていきたいです。学生がすごしやすい環境をととのえる事が一番だと思います。

(回答) エアコンの温度設定は、教室のある方角や階数などをもとに、部屋毎に設定するなどの工夫をしていますが、2013年度は職員がプロジェクトを組んで改めてきめ細かく現状を把握し、エアコンを適切に運用するよう努めます。天候や教室にいる人数も影響しますので、学生から申し出があった場合には状況を確認し、温度を調整しつつ、その情報を参考にエアコンの運用に反映していきます。また、在学生満足度調査の回答では、夏に“暑すぎる”と回答している学生がいる一方で“寒すぎる”との回答が、冬に“寒すぎる”と回答している学生がいる一方で“暑すぎる”との回答があることから推察されるように、学生全員が快適な状態にすることは困難なため、学生にも服装を工夫するなど協力をお願いしています。

【駐車場】

(質問) 通学時間帯には駐車場周辺が大変混むようですが、交通整理はどのようにされているのでしょうか。事故が心配です。

(回答) 大学の駐車場周辺の混雑を緩和するために、2012年10月より、駐車場への左折入場という方式をとっています。これまでは、右折・左折の両方向から駐車場へ進入できるようになっていたため、道路を塞ぐ車の列が両方の車線に出来てしまい、授業開始30分前くらいから大変混雑していました。これを左折入場だけ（右折入場禁止）に限定しましたので、これまでの両車線の混雑は無くなりました。

また、駐車場への進入も短時間で済むようになっています。車で通学する学生には、左折入場のルールを守って駐車場を利用するよう学生支援部門の教職員で指導をしています。

(質問) 曜日によって駐車場があふれることがあり、いつも通り通学しても、駐車場所を探していて授業に遅刻したことがあったので、もう少し調整してほしい。

(回答) 駐車場利用許可は、収容台数よりも多く学生に許可しています。年々駐車場利用希望者が増加しているため、許可台数を増やしてきた結果が現状です。残念ながら許可できなかった方もかなりあります。実習や時間割等で大学に登校しない学生や学外で活動して出勤しない教員等の車を見込み、敷地内の駐車スペースを有効に活用するために見直した最大台数です。時間割の関係や実習生の帰校日などは、駐車場があふれる場合がありますが、臨時駐車スペースに職員が誘導していますので、ご理解ください。また曜日により混雑する場合があることを見越して、遅れないよう早めに登校するようにご家族もご協力ください。

(5) 情報提供

(質問) 保護者に対しての情報をもう少し提供してほしい。

(回答) 後援会のホームページの更新頻度を高めるようにします（大学の公式ホームページとの情報リンクを含む）。また、大学の公式ホームページやfacebookのほか、教員や学生が情報更新をしている学科ブログやWEBページもありますのでぜひご覧ください。

ホームページ

大学	http://www.seirei.ac.jp/index.php
後援会	http://www.seirei.ac.jp/information/gardian.php

facebook

大学	https://www.facebook.com/seirei.christopher.university
学生	https://www.facebook.com/seirei.christopher.university.studentpage
卒業生	https://www.facebook.com/seirei.christopher.university.alumnipage

学科ブログ・WEBページ

社会福祉学科	http://blg.seirei.ac.jp/ss/
介護福祉学科	http://blg.seirei.ac.jp/sc/
こども教育福祉学科	http://blg.seirei.ac.jp/sn/
理学療法学科	http://blg.seirei.ac.jp/pt/
作業療法学科	http://blg.seirei.ac.jp/ot/
言語聴覚学科	http://blg.seirei.ac.jp/st/